



熊野の長フジ

磐田市池田330 行興寺境内
 JR東海道本線・豊田町駅から約3.2km。
 東名高速道路・浜松ICより約9分。



【お問い合わせ先】
 池田交流センター 0538-34-4737

contents

01 芳賀徹氏を悼む

02 [県政特集]
 オリンピック憲章に定められた文化の祭典
 「地域とアートが共鳴する」
 静岡県文化プログラム

03 [世界クラスの美しい“ふじのくに”]
 熊野の長フジ

05 [知事対談]
 「静岡知図」をつくり、
 次代を拓く。
 静岡県立大学グローバル地域センター長
 濱下 武志氏

09 [スポーツの聖地づくり]
 東京2020オリンピック・
 パラリンピック開催迫る！
 サイクルスポーツの聖地実現へ

13 [ふじのくにブランド]
 藤枝産 静岡抹茶

14 [Living My Dream Life in ふじのくに]
 佐野 淳哉さん



房が1.8mを超える熊野の長フジ。1本が国、5本が県の天然記念物に指定されている。写真は県指定の藤。

帯で組織する「熊野保勝会」が行っている。同会の会長・渡瀬治さんは「御前と長藤は池田の誇り。その歴史と景観を将来にも語り継ぎたい」と語る。藤棚周辺の清掃と草刈りに汗を流す「熊野草取りボランティア」の代表・鈴木二郎さんも「花だけでなく老木の姿や藤棚下の苔、御前ゆかりの十一面観音菩薩、座論梅なども見てほしい」と、熱い郷土愛をにじませる。

長藤の見頃は、4月中旬から下旬にかけて。今年も4月11日(土)から5月3日(月)に催事が行われ、藤棚周辺は幽玄な彩りと香りに包まれる。その光景はまさに歴史絵巻。御前の命日5月3日には供養祭も行われる。

世界クラスの美しい“ふじのくに”

幾重にも連なる薄紫の花弁が、1.5mを超える房になってしだれ、あたり一面を花のカーテンのように揺らす。「熊野の長フジ」は、熊野御前が植えたと伝わる藤の木だ。樹齢は約850年と言われ、春になると甘く清らかな香りを振りまきながら、無数の花を咲かせる。

熊野御前は、平家物語にも登場する人物で、平安時代の末期に現・磐田市に生まれ、時の権力者・平宗盛に寵愛された才女。歌の名人でもあったと言われている。母の看病のため、都から郷里へ戻り、自ら植えた長藤を愛でたという。古くから「孝養を尽くした女性の鏡」と敬愛され、行興寺(磐田市池田)の境内にある御前の墓には、女性の願いが叶うと今なお多くの人が参拝に訪れる。

行興寺境内では、この長藤と樹齢300〜400年の長藤5本が、壮麗な藤棚を形成する。その維持管理は、池田地区の全世



熊野保勝会会長の渡瀬治さん(左)と熊野草取りボランティアの鈴木二郎さん(右)。



熊野草取りボランティアは、藤棚周辺的美観維持活動を行っている。



池田地区の有志グループが行う夜間のライトアップ。花期はほぼ毎晩開催。



熊野御前が植えたと言われる国指定天然記念物の藤の木は、老木ながら、毎年見事な花を咲かせる。

熊野の長フジ
 (磐田市)
 ★国指定天然記念物 ★県指定天然記念物